



Yayoi Life by the Lagoon

平成12年夏季企画展

F r o n t i e r s P e o p l e i n

企画展講演会=7月23日回 ●時間=午後2時~4時(1時より受付) ●場所=1階ホール

「魂を運んだ木の鳥—雁屋遺跡の葬送儀礼—」白旗順子教育委員会主任講師 野島 稔

「東の世界への窓口—交易拠点としての高宮八丁遺跡—」徳島県教育委員会文化財担当職員 濱田 延允

弥生時代の 水辺の 絵巻

北河内のフロンティア

7月15日(土)

9月10日(日)

●主催
大阪府立弥生文化博物館
四條畷市教育委員会
寝屋川市教育委員会

■開館時間
午前10時~午後5時(入館は4時30分まで)

■休館日
毎週月曜日

■入館料
個人=一般400円・高大生300円
小中学生・65歳以上・障害者手帳を持つ方は無料
団体=一般320円・高大生240円
(団体は20名以上)

■所在地
〒594-0083 和泉市池上町443
電話=0725・46・2162

■交通
JR阪和線「信太山」駅下車徒歩7分
南海本線「松ノ浜」駅下車徒歩20分

■駐車場
普通車80台、大型バス7台無料

K i t a k a w a c h i



本館学芸員による

考古学講座=9月3日回 ●時間=午後2時~4時(1時より受付)

●場所=1階ホール

「弥生時代の大集落—和泉・池上曾根遺跡と摂津・東奈良遺跡—」

勾玉を作ってみよう

勾玉教室=8月5日(日)・19日(日) / 各回定員70名 **申込み先着順**

●時間=午後2時~4時(1時より受付) ●場所=1階ホール

●住所・氏名・電話番号・参加人数・希望日を明記した往復ハガキで
博物館宛に7月20日までに申し込んでください

●参加費無料(入館料のみ必要)

大阪府立弥生文化博物館

弥生水辺の巻

北河内のフロンティア

Yayoi Life
by the Lagoon
Frontiers People in
Kitakawachi

弥生時代の大阪湾は
現在よりもずっと
山寄りに入り込み、
上町台地との間に
「河内潟」を造っていました。
この水辺に弥生の葦が
みごとに咲きました。
その色は多彩で
大きさもまちまちですが、
「集落ネットワーク」
という根で
それぞれ結びついています。
今回、北河内の集落に
視点をあて、
そうした結びつきについて
考えてみました。
盛夏のひととき、
水辺の弥生絵巻を
お楽しみください。

主な展示品

- 伝四條畷市出土銅鐻
【重要美術品】
- 高宮八丁遺跡出土の銅鐻形
土製品・獣形勾玉・玉作りセット
- 雁屋遺跡出土のシャーマン
を描いた土器・鳥形木製品・
銅鐻舌・分銅形土製品・木製品
- 展示品から北河内の大集落
の様子がうかがえる

出品総数約850点
(重要美術品2点)

1 時代の先端を行くムラ・ムラ

いちはやく河内潟^{かほり}周辺で稲作を取り入れた高宮八丁遺跡^{たかみややちやう}では、交易のための玉作りも行われていました。河内潟は生業や情報・物資の流通に重要な役割を果たしていました。



① 玉作りセット【夏屋川市 高宮八丁遺跡】

➡ 稲作が始まった頃の土器【夏屋川市 高宮八丁遺跡】



2 華咲くさまざまなムラ・ムラ

雁屋遺跡では銅鐻を鳴らす舌^{しほ}が出土し、しかも1km離れて銅鐻2点が見つかったことから、集落内で銅鐻の祭りが行われていたようです。ムラの発展は河内潟が握っていました。



➡ 土器に描かれたシャーマン【四條畷市 雁屋遺跡】



① 雁屋遺跡で使われたとみられる銅鐻【重要美術品】【伝四條畷市出土】



➡ 墓前に供えられた文様のある木の容器【四條畷市 雁屋遺跡】

魂を運んだ木の鳥【四條畷市 雁屋遺跡】



① 並んだ木のひつぎ【四條畷市 雁屋遺跡】

